

1 エンゼルケアにおける簡易型「エンゼル義歯」

宮沢玲子¹, 江川広子², 野村章子³, 伊藤圭一³, 小山 覚¹

¹済生会新潟第二病院, ²明倫短期大学歯科衛生士学科, ³明倫短期大学歯科技工士学科

keywords : エンゼル義歯, エンゼルケア, 口腔ケア

はじめに

エンゼルケアは, おもに看護師による死後の全身清拭であるが, 最近では従来のような処置にとどまらず, 患者と家族の思いに応えながら行う死後のケアへと変わってきた。さらに, 一部の病院では口腔清掃も行われており, 家族の希望があれば, 死亡後の入浴, メイク, 故人愛用の衣服着用等も施される。

一方, 長期入院や終末期の患者には, 義歯を装着していないために生前の面影が損なわれている現状がある。そこで, 歯科衛生士の視点から, 自然な面影を整え, 家族にとって穏やかな「お別れ」の時を迎えられるよう支援するために, エンゼルケアにおける簡易型エンゼル義歯の必要性を検討し, その作製を試みた。

方法

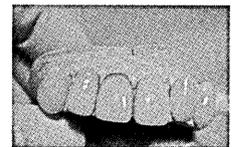
口腔ケアの介入を行った入院患者10名に対しては義歯の装着状況を, その家族10名には「お別れ」の時の義歯作製の希望について聞き取り調査を行った。次にボランティア1名に簡易型エンゼル義歯を作製し, 装着した。人工歯には暫間クラウン用シェル(松風), 義歯床には歯科用シリコンのタイタニウム(セルマック)あるいはユーティリティー・ワックス(ジーシー)を選び, カラーテスター液(ジーシー), 瞬間接着剤, 歯科用彫刻刀, を使用した。タイタニウムの操作には, 1カップのベースにカラーテスター液を3滴入れて色が馴染むまで練和し, 次に硬化剤を入れ練和後に口腔内で形成を行い, 人工歯を配置し圧痕をつけて, 口腔外で人工歯を固着した。ユーティリティーの場合は, 軟化したワックスをまとめ, 口腔内に挿入し, 形成を行い, 正中を決めて人工歯の配置を行った。

結果

聞き取り調査から, 患者10名中4名は義歯を装着しており, 6名は入院中に義歯が必要な口腔内状況にありながら義歯作製の希望がないことがわかった。しかし, 家族10名中9名から, 「お別れ」の時があるとなれば義歯の作製を望むとの回答を得た。ベッドサイドを想定した簡易型エンゼル義歯の作製には15分程度を要した。義歯床材料のタイタニウムは硬化後の補充が, ユーティリティー・ワックスは付形がそれぞれ容易であった。しかし, どちらも床材料の硬化時間に制限があるために, 人工歯の配置が難しかった。



口腔内で付形した
タイタニウム床



口腔外で完成した
エンゼル義歯

まとめ

エンゼルケアは新しい取り組みとして臨床の場で広がり始めているので, 歯科衛生士が介入する機会も増えると思われる。今回の聞き取り調査からは家族が望む口元を整える義歯の必要性も確認された。今後は歯科医師, 歯科衛生士, 歯科技工士の連携で, 「エンゼル義歯」の改良を行う必要があると考えた。

引用文献

- 1) 小林光恵, 村澤博人他: 特集 ケアとしてのエンゼルメイク, ナーシング・トゥデイ2, 18-39頁, 日本看護協会出版会, 東京, 2004
- 2) 小林光恵: 特集 死後の処置からエンゼルケア, プチナース8, 50-57頁, 照林社, 東京, 2008